

日の出が丘

【学校教育目標】 **本気で学び 思いやりのある子**
 【重点目標】 **日々、前に進む子**



新型コロナウイルスへの対応下でも・・・

校長 井上 雅夫

11月6日に、5年生が野外教室②を行いました。内容は、「ウォークラリー キャンプファイヤー 肝試し」でした。保護者の方から「運動場でキャンプファイヤーをしたのは、何年ぶりかしら。」という話もありました。

そこで、野外教室の最後に行われる解団式で、「新型コロナウイルス対応のために、自然教室へ行けなかった。」と感じるよりも「新型コロナだったから、運動場でキャンプファイヤーができた。校舎内で肝試しができた。」と感じてほしい、という話をしました。

また、11月19日に、「学校関係者評価委員会」を行いました。その中で、「マスクをつけていると、あいさつの声が小さくなっている。コミュニケーションが難しい。」
 「新型コロナで、孤立している子供がいるのではないだろうか。」という話がありました。

大池小は、「進んであいさつ・黙って掃除・他への優しさ」を児童会の3つの自慢としています。あいさつについては、他への礼儀という観点から、教師の指導としても日常的に推奨しています。地域で子どもたちに声をかけてくださった時に、大人が期待していたような子どもらしい、元気なあいさつの声が返ってこない時もあると思いますが、子どもの育ちを期待して温かい気持ちで声をかけていただくとうれしく思います。



●11/19 第2回学校関係者評価委員会を行いました！

授業参観・懇談会の1日目に合わせて、第2回の学校関係者評価委員会を行いました。出席者11名により、感染症に関すること、ICT教育にかかわること、オンラインゲームのこと等について様々なご意見をいただきました。

いただいたご意見については職員間で共有し、できることはすぐにでも今後の教育活動に反映させていきたいと思っております。



●善行賞候補者の推薦について

「日の出が丘」10月号でお願いした善行賞候補者ですが、本校からは布マスクを自作して養護老人ホーム「平和の杜」に寄贈した、6年1組の森田美咲さんを推薦することになりました。
 （※7月号に掲載）ご協力をありがとうございました。



●新型コロナ感染症の感染者の増加を受けて・・・

全国的な感染拡大に呼応するかのように、市内の感染者の状況も増加傾向にあります。2学期はじめの頃から、感染状況の好転を受け、少しずつ可能な教育活動を再開し、校外活動も実施してきました。しかし、現在は逆に実施することに対して慎重になる必要があると考えています。

今回、11月27日(金)に予定していた4年生の社会科見学を延期することにしました。目的地である静岡市の感染状況も含めて検討した結果です。社会科見学については、今後の感染者数の動向等を注視し、実施の時期を決めていく予定です。

本校では現在、ウイルスを持ち込まないことや三密の回避を軸とした生活様式の実践を続けています。しかし、ずっと感染リスクレベルが低かったことから、教師にも子どもにもわずかな油断や緩みが出始めているのではないかと感じています。今回、市内の感染状況の悪化を受けて、校内におけるマスクの着用やソーシャルディスタンスの確保等を、改めて徹底していきたいと考えています。

ご家庭におかれましては、毎朝の検温と健康チェックを児童本人とともにご家族についても行っていただき、体調の管理に万全を期していただきたいと思います。また、児童やご家族の方が、感染の疑いがありPCR検査等を受ける場合や、濃厚接触者と特定された場合は、学校への報告をお願いします。なお、土日等に判明した場合、翌週月曜日の朝は登校を控えていただき、学校へ連絡して相談していただくようお願いいたします。